



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～“環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター(精華町内)に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”(鹿背山地内)の建設に取り組んでいます。

工事は、建築工事とプラント工事を並行して進めています。

特に夏季は、主要なプラント機器の工場検査や現場への搬入・取付工事に取り組みました。

平成30年9月末の“環境の森センター・きづがわ”的完成を目指し工事が進んでいます。今月は、8月の建設工事の状況をお伝えします。

建築工事では、ごみピット部分の柱・壁や プラットホーム部分の床面の配筋工事をおこないました

8月の建築工事では、ごみピット部分5階の柱・壁のコンクリートを打設しました。これで、屋上と屋根部分を残して、建物では最上階となる5階まで柱・壁が到達しました。

プラットホーム部分では、床面の配筋工事をおこないました。プラットホームには、パッカー車がごみを投入するための3基の投入扉や、住民の方が直接持込まれたごみを安全に投入するためのダンピングボックスを備えています。車両の出入りがスムーズにおこなえるよう広々としたスペースになっています。

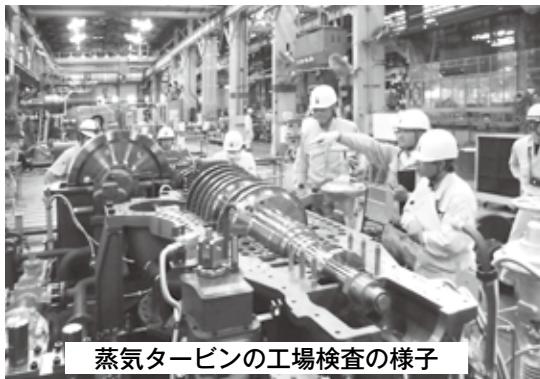


プラットホームの配筋工事の様子

蒸気タービン発電機などの工場検査、 純水装置や非常用発電機の取り付けをおこないました

プラント工事では、蒸気タービン発電機やごみクレーン・灰クレーンの制御盤の工場検査をおこないました。

蒸気タービン発電機は、ごみを焼却した熱を利用して発電をおこなうために重要な機器です。蒸気タービン部分は、高速で回転する機械ですので、検査では、運転中の振動や騒音のほか、安全に運転を制御できることを確認しました。運転試験後には、機械内部の点検をおこないました。



蒸気タービンの工場検査の様子

現場では、7月に工場検査をおこなった純水装置や非常用発電機を取り付けました。

純水装置は、ボイラへの給水に含まれる、配管の詰まりや腐食の原因となる不純物を除去する装置です。

プラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



純水装置搬入時の様子

“環境の森センター・きづがわ”的早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

クリーンセンター建設推進室 ☎ 75-1226 fax 72-3900 ✉ clean-center@city.kizugawa.lg.jp